

農林水産大臣賞

全ての漁法で改善を

『土佐の清水さば』支所の 浜全体の活性化策！



高知地区 地域水産業再生委員会 清水部会 (JF高知県 清水統括支所)

安心安全、高鮮度なブランド魚『土佐の清水さば』の取組み、メジカ水揚量の拡大策、漁師OBとの連携など、総合的に改善策を推進し、浜を活性化。

①②③土佐の清水さば ④活きメの様子 ⑤サバ漁の様子 ⑥船上の生簀に移す様子 ⑦水揚げされたサバを急いで活魚槽に移す様子(通称:サバダッシュ) ⑧漁協内の活魚槽 ⑨漁師OBによる漁具作製の様子 ⑩関係者一同

ブランド魚『土佐の清水さば』をさらなる高みへ

漁業者の減少に頭を悩ませていた、高知県漁業協同組合 清水統括支所。この地を代表するブランド魚であるゴマサバ『土佐の清水さば』は、味に悪影響を与えるストレスを可能な限り除去するための工夫が施されている。立縄漁で一匹一匹丁寧に釣り上げられ、一切手で触れられることはない。水揚げ後は活魚槽で丸一日蓄養し、獲れたての状態を甦らせる。

知名度も高く、その鮮度と味は確かだったが、さらにブランド力と認知、魚

価を向上させるための取組みが求められていた。

首都圏出荷や漁師OBの活用など、総合的な取組み

『土佐の清水さば』をより広めるために目指されたのが、都市圏への進出だった。だが、それまでの通常出荷では、水揚げの翌日に生き締め・血抜きを行い、首都圏に届くのは陸送でさらに1日と時間がかかり、一番の売りである鮮度と味が損なわれてしまう。そこで、日が昇る前から漁協職員がメ作業を行い、朝5:00に空輸で出荷する方法に変更。首都圏でも

同じ鮮度で『土佐の清水さば』を楽しめる体制を整えた。

また現役漁師の漁の負荷を軽減するため、漁師OBによる漁具作製委託を開始した。時間がかかる漁具の修繕・作製作業を分散することにより、出漁回数の増加につながる効果を見せはじめている。

当再生委員会の優れた点は、メインのブランド魚に留まらず、漁業全体で取組みを進めている点だ。ゴマサバに並ぶ主要魚種のメジカ曳縄漁では、これまで休市日となっていた土曜日でも開市。さらに、漁獲量の安定化を図るため、貸付金を利用し、大

漁時にメジカを買い付けて冷凍保管。漁獲が途切れたときに原魚の状態加工業者へ供給することで、需給調整を行う試みも進めている。

また、新技術の導入にも積極的で、サバ立縄漁でのファインバブル、曳縄漁でのスラリーアイスなど、鮮度向上のための努力を惜しまない。

課題のひとつであった担い手の確保についても、研修受講者に対する生活面での支援や育成支援を積極的に進めることで、1ターン・Uターンでの新規就業者の増加に取り組んでいる。

全ての漁法で改善を施し、浜全体を再生させる活動

清水統括支所が管轄する足摺(あしずり)岬周辺の海域は県内屈指の好漁場であり、それだけ多くの漁法が営まれている。当再生委員会の取組の特徴は、ほぼすべての漁法において課題を見出し、それへの効果的な改善策を打っている点だ。

取組みの多くは効果をもたらし、魚価の向上、所得向上につながっていることに加え、当地域の活性化にも大きく寄与している。

表彰選定委員会でのコメント (一部抜粋)

「高鮮度処理、ブランド化、地区の助け合いとしての漁具制作を実施し、所得も伸びた事例である。」
「OBや高齢者も含め、地域全体で参画した点で評価が高い。」
「総合性の観点から、所得向上の実績もあり評価できる」

再生委員会 情報

- 委員会名: 高知地区地域水産業再生委員会 清水部会 ●代表者: 問可 証善
- 構成メンバー: 高知県漁業協同組合 清水統括支所、土佐清水船主組合、土佐清水市、高知県土佐清水漁業指導所
- 対象地域: 高知県土佐清水市(窪津地区を除く) ●対象漁業: 立縄漁業、曳縄漁業、メジカ引曳縄漁業、定置網漁業

浜プラン詳細

